

最高の仲間とつくった体育祭



生徒がつくりあげた体育祭。普段の生徒たちを見ていて、この子たちだったら、うまくいかないわけがないとは思っていましたが、想像以上でした。南中の生徒たちはすごいです。特に3年生の姿は頼もしく感じました。1、2年生も3年生の姿を見て、来年は自分もっていう気持ちになったのではないのでしょうか。(山口)

磨き上げた歌声響く 合唱コン

10月30日、邑の森ホールで合唱コンクールが開かれました。感動的な合唱コンクールでした。

どの学年もすばらしかったのですが、やはり3年生の歌声は心に響くものがありました。ステージで披露した数分の合唱の中に、それぞれのクラスが積み重ねてきた思いや磨き上げてきた過程が、ぎゅっと詰まっているのが伝わってきました。(山口)



自然の中でたくましく 1年林間学校

9月12～13日、1年生は赤城山での林間学校に行ってきました。カッター訓練やキャンプファイヤー等、学校ではできない体験をして、生徒たちは体も心も一回り大きくなって帰ってきました。



天気に恵まれたカッター訓練。2日目には、息もぴったり合って、風を感じられるくらい速く漕げるようになりました。(星野)

覚満淵では、ネイチャーガイドの方から赤城の自然について教えていただきました。

雄大な自然に囲まれ、気持ちよく学ぶことができました。



べき と べき



日本人の親は「人に迷惑をかけちゃダメ」と言って子供を育てますが、インド人の親は「あなたは人に迷惑をかけて生きているのだから、人を許してあげなさい」と子供を育てるのだと聞いたことがあります。すっとんと落ちた言葉です。

そうやって考えると、今の日本の世の中は寛容性がなくなってきているなあと感じます。それぞれの人の心には「こうするべき」「こうあるべき」というのがあるわけですが、それぞれの「べき」はそれまでの人生の歩み方によって、多種多様なわけです。で、どちらも自分の「べき」が正しいと思っているからぶつかってしまうのですよね。

いつも自分事ですみません。うちの末っ子は障害を持っていて支援学校に通っています。支援学校に通っている子供たちは、それぞれ多様で、「こうあるべき」なんて論理は通用しません。うちの息子もまわりにたくさん迷惑をかけています。でも、ほかの親御さんたちも「お互い様だから」って、懐深く許してくれる人たちがばかりなので救われています。運動会なんかでは、突飛な行動をする子供たちがばかりなので、予定通りに進まないのですが、そういったハプニングを子供たちも保護者たちも笑って見守れる温かさがあります。そんな光景に立ち会っていると、思うとおりにいかないことに腹を立てている自分を小さいなと思ってしまいます。他人を許せる人間でありたいと思います。

さて、ここからは生徒向けに書きます。

自分が子供だった頃、小学校の中学年くらいまでは、大人の言うことはその通りだと信じていたのに、高学年から中学生になると、「それ、ちがうんじゃないの？」って思うことが時々出てくるようになりました。多分、みんなにも経験があるのではないのでしょうか。これは、自分の考えや価値観が固まってきた、成長の証です。それまでは、大人の考えを何も考えずに受け入れていたのが、自分のフィルターを通して、共感できるかどうか、判断することができるようになったということです。そして、先の見えない世の中で、新たな価値を生み出すには、上の世代の「こうするべき」「こうあるべき」を盲信するのではなく、一度自分のフィルターを通して判断していくことが必要になるのではないのでしょうか。もちろん自分のエゴを押し通せとか、大人の考えを全否定しろということではありませんよ。

(文責：山口)

日	曜	行事・その他
1	金	安全点検日 QU心理検査
2	土	
3	日	【文化の日】
4	月	【振替休日】
5	火	学校計画訪問(後期)
6	水	三者面談 集金日
7	木	三者面談
8	金	三者面談
9	土	
10	日	
11	月	職員会議
12	火	学校評議委員会 三者面談
13	水	三者面談
14	木	三者面談
15	金	三者面談 数学検定
16	土	
17	日	
18	月	校内研修
19	火	
20	水	
21	木	期末テスト
22	金	期末テスト 学校保健委員会
23	土	【勤労感謝の日】
24	日	
25	月	学年会議
26	火	3年薬物乱用防止教室
27	水	入学説明会・部活参観
28	木	2年職場体験
29	金	2年職場体験
30	土	

